

俯瞰(ふかん)で物を見てみよう。

今回の担当は Dice です。今日は俯瞰（ふかん）という言葉をテーマに、個人的に思うことを書いていきたいと思います。

まず、俯瞰とは？

「高い所から見下ろすこと。全体を上から見ること。」（ウィキペディアの説明引用）が意味になります。「俯瞰的」이라는のは、「客観的」とか「大局的」という意味合いでも使用されています。最近だと、スポーツ中継の中でも、この言葉を耳にすることがあると思います。

僕は、大学の野球チームもサポートさせてもらっています。この 3 月も、春季キャンプに帯同させてもらいました。そこで感じたのが、この「俯瞰」という言葉。大学生の方が、高校球児よりも、技術的・体力的に上なのは当然です。でも、それ以上に、野球を「俯瞰的」に見ているという印象を持ちます。

- 外的な構成要素を、より認識している。（球場コンディション、自然条件など）
- 対戦相手チームの情報（相手チーム各選手の特性）
- 自身のチームの状況（チームメイトの特性、コンディション）
- シチュエーション（各種カウント、ランナー有無、イニング、点差、打順、
対左投手／打者、対右投手／打者など）

これらの戦況判断するための要素を踏まえ、配球、バッティング内容、守備ポジショニングなどが、より戦略的だと思います。

大学生と高校生を比べているので、野球経験の差といつてしまえば、それまでかもしれません。また、トーナメント戦とリーグ戦という対戦方法の違いもあるかもしれません。でも、自分の視点を「より高いところに置く」ということは大切だと思います。以前、高校野球のある監督の方から、「自分と同じ目線で野球を見られる選手をベンチに入れたい。」と話をうかがったことがあります。選手の視点がより高い位置（指導者の視点）にあれば、チーム戦略を徹底することが容易になる。それが、勝利につながる部分もある。というご意見でした。

目の前で起こっている事象に、一生懸命に対応することも大事です。それと同様に、高い位置から、全体を客観的に見ることも大事です。自分の視点をあげてみると、プロ野球やメジャーの試合観戦のポイントが変わるので？ゲーム中のサインの意図も理解しやすいのでは？